

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年1月14日（火）

2 確認箇所

- ・既設多核種除去設備
- ・1／2号機共用排気筒（1／2号機開閉所前等から確認）

3 確認項目

- （1）既設多核種除去設備（A）吸着塔スクリーンの折損事象の応急処置状況
- （2）1／2号機共用排気筒解体工事の状況

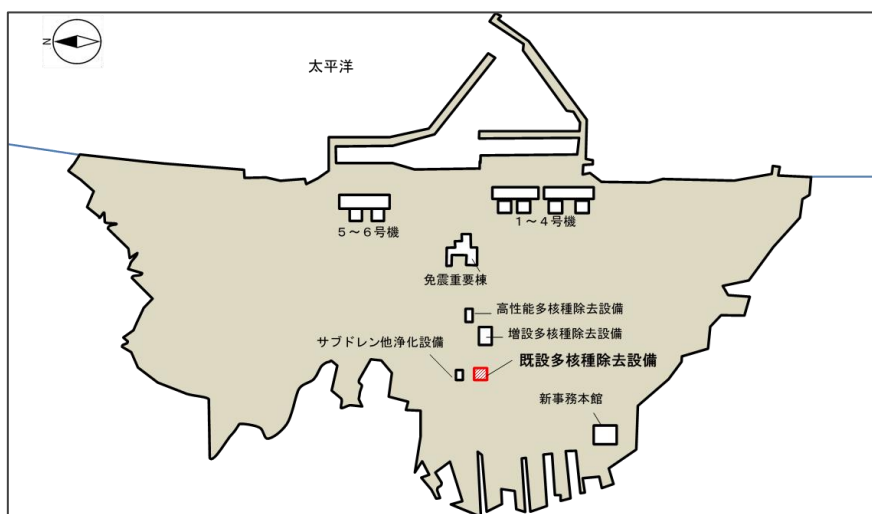
4 確認結果の概要

- （1）既設多核種除去設備（A）吸着塔スクリーンの折損事象の応急処置状況について

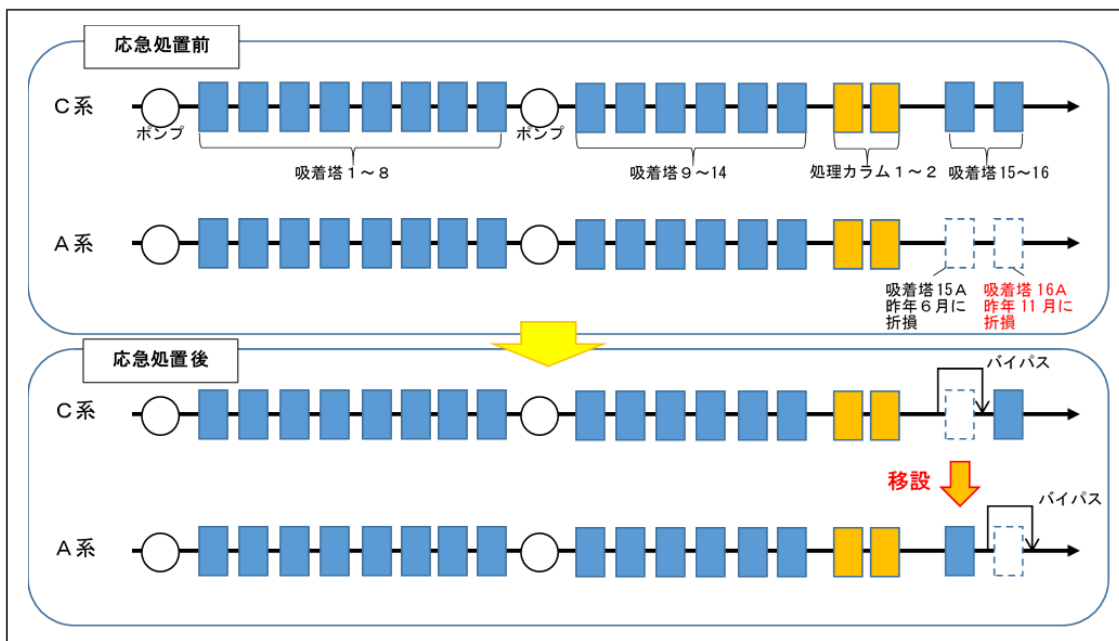
昨年6月と11月に既設多核種除去設備（A）吸着塔スクリーン※の折損が確認されたことから、対応状況を確認した。（図1）

- ・応急処置としてC系の吸着塔1塔がA系に移設されていた。（図2、写真1）
- ・東京電力によると、吸着塔スクリーンの折損原因はスクリーン根元部の腐食等であることから、今後、折損したA系の吸着塔スクリーンの復旧作業を行うとともに、復旧時には折損防止対策を施したスクリーンを採用するとのことであった。なお、C系からA系に吸着塔を移設したことにより、C系の吸着塔が1塔少なくなるが、必要な性能は満足しているとのことであった。

※ 吸着塔スクリーン：吸着塔に充填された吸着材の下流側への流出を防止するフィルタ



（図1） 福島第一原子力発電所構内概略図



(図 2) 既設多核種除去設備系統概略図



(写真 1 - 1)
A系の吸着塔ラック



(写真 1 - 2)
C系の吸着塔ラック

(2) 1 / 2 号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2 号機共用排気筒解体作業は昨年 8 月 1 日から作業を実施しており、排気筒上部の約 60m を 23 ブロックに分けて解体する計画のうち、1 ~ 7 ブロック目までの解体を本年 1 月 11 日に完了している。

8ブロック目の解体作業が1月13日から開始されたことから状況を確認した。

- ・現地確認時（11時10分頃）、解体装置は2号機原子炉建屋西側ヤードに吊り下ろされ、メンテナンス作業等が実施されていた。（写真2）
- ・東京電力によると、本日（1月14日）3時37分までに鉄塔（斜材）を予定どおり8本切断し、装置のメンテナンス等のため5時43分に解体装置を吊り下ろしたとのことであった。



（写真2-1）
排気筒頂部の状況



（写真2-2）
2号機原子炉建屋西側ヤードの状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。